

富士河口湖高校同窓会だより

河高北陵館通信

山梨県立富士河口湖高等学校
同窓会事務局

Vol.35

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津 6663-1 TEL 0555-73-2511 FAX 0555-73-2513 http://kawako-dosokai.net/

同窓会長
天野 繢男(四期生)

なり、まるで駆伝の櫻のよう
に毎年、実行委員会の皆様の
真心とご足労の絆でつなげて
頂いています。

20年の時の流れを超えて19
期生の牧野剛実行委員長を中心
に1年前から会の準備をし
ていました。私も経験させて
頂きましたが、同窓会の案内
や講師依頼協賛広告のお願い
等、やることが沢山あって
大変だったと思います。

田口尚弥

河高の卒業生も1万1千人
を超え社会の様々な分野で活躍
されています。「河高の卒業
生と話をして、一番驚いたこ
とは皆さん、自分が何期生か、
良く覚えてる所です!」と、
田口尚弥校長先生があつしや
つていました。こつしたことと
も、河高同窓生の素敵な魅力
の一つかと思います。

昨年9月、河高創立40周年
記念として同窓会より、「ワゴ
ン車購入と防災備蓄倉庫整備
費用を寄付させて頂きまし
た。「ワゴン車が新しくなつて
在校生が、とても喜んでいま
す。倉庫が整備されて先生達
も安心しています」とお礼を
頂いたことも、「この場をお借
りしてご報告させていただき
ます。さらに素晴らしい同窓会を
目指して頑張って参りますの
で、今後も変わらぬ、ご支援を
よろしくお願いいたします。

さ

る

と、

2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから
も、その校風のとおり「アウ
トサイダー」な道を歩んだ。

大学では地理学を専攻。文
学部にも関わらず地形図を
眺めて4年間を過ごし、直感
で惚れ込んだかまぼこ会社
の営業職に。社会人2年目の
夏の暑い日、突然物書きにな
りたいと思い、翌春タウン紙
の記者へと転職。趣味で始め
たランニングへの熱が高ま
る、2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから
も、その校風のとおり「アウ
トサイダー」な道を歩んだ。

大学では地理学を専攻。文
学部にも関わらず地形図を
眺めて4年間を過ごし、直感
で惚れ込んだかまぼこ会社
の営業職に。社会人2年目の
夏の暑い日、突然物書きにな
りたいと思い、翌春タウン紙
の記者へと転職。趣味で始め
たランニングへの熱が高ま
る、2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから
も、その校風のとおり「アウ
トサイダー」な道を歩んだ。

大学では地理学を専攻。文
学部にも関わらず地形図を
眺めて4年間を過ごし、直感
で惚れ込んだかまぼこ会社
の営業職に。社会人2年目の
夏の暑い日、突然物書きにな
りたいと思い、翌春タウン紙
の記者へと転職。趣味で始め
たランニングへの熱が高ま
る、2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから
も、その校風のとおり「アウ
トサイダー」な道を歩んだ。

大学では地理学を専攻。文
学部にも関わらず地形図を
眺めて4年間を過ごし、直感
で惚れ込んだかまぼこ会社
の営業職に。社会人2年目の
夏の暑い日、突然物書きにな
りたいと思い、翌春タウン紙
の記者へと転職。趣味で始め
たランニングへの熱が高ま
る、2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから
も、その校風のとおり「アウ
トサイダー」な道を歩んだ。

大学では地理学を専攻。文
学部にも関わらず地形図を
眺めて4年間を過ごし、直感
で惚れ込んだかまぼこ会社
の営業職に。社会人2年目の
夏の暑い日、突然物書きにな
りたいと思い、翌春タウン紙
の記者へと転職。趣味で始め
たランニングへの熱が高ま
る、2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから
も、その校風のとおり「アウ
トサイダー」な道を歩んだ。

大学では地理学を専攻。文
学部にも関わらず地形図を
眺めて4年間を過ごし、直感
で惚れ込んだかまぼこ会社
の営業職に。社会人2年目の
夏の暑い日、突然物書きにな
りたいと思い、翌春タウン紙
の記者へと転職。趣味で始め
たランニングへの熱が高ま
る、2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから
も、その校風のとおり「アウ
トサイダー」な道を歩んだ。

大学では地理学を専攻。文
学部にも関わらず地形図を
眺めて4年間を過ごし、直感
で惚れ込んだかまぼこ会社
の営業職に。社会人2年目の
夏の暑い日、突然物書きにな
りたいと思い、翌春タウン紙
の記者へと転職。趣味で始め
たランニングへの熱が高ま
る、2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから
も、その校風のとおり「アウ
トサイダー」な道を歩んだ。

大学では地理学を専攻。文
学部にも関わらず地形図を
眺めて4年間を過ごし、直感
で惚れ込んだかまぼこ会社
の営業職に。社会人2年目の
夏の暑い日、突然物書きにな
りたいと思い、翌春タウン紙
の記者へと転職。趣味で始め
たランニングへの熱が高ま
る、2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから
も、その校風のとおり「アウ
トサイダー」な道を歩んだ。

大学では地理学を専攻。文
学部にも関わらず地形図を
眺めて4年間を過ごし、直感
で惚れ込んだかまぼこ会社
の営業職に。社会人2年目の
夏の暑い日、突然物書きにな
りたいと思い、翌春タウン紙
の記者へと転職。趣味で始め
たランニングへの熱が高ま
る、2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから
も、その校風のとおり「アウ
トサイダー」な道を歩んだ。

大学では地理学を専攻。文
学部にも関わらず地形図を
眺めて4年間を過ごし、直感
で惚れ込んだかまぼこ会社
の営業職に。社会人2年目の
夏の暑い日、突然物書きにな
りたいと思い、翌春タウン紙
の記者へと転職。趣味で始め
たランニングへの熱が高ま
る、2年後にはランニングへ
の2年後、深夜の地下鉄の
中で故郷に戻ることを決
断。10年ぶりにこの富士北麓
に還ってきた。

2016年、同じようにリ
ターンして河高の同級
生の誘いでフリーマガジン
「シルベ!」を創刊すること
になった。富士北麓の魅力を
地域内外の人々に再発見し
てもらうための雑誌だ。しか
し無料誌ゆえ、必要なのは
広告収入。そこで手を差し
て発行を続けている。

そして昨年の暮れ、嬉しい
知らせを頂いた。シルベ!

が、「日本タウン誌フリーペ
ーパー大賞2017」新創刊
部門で優秀賞を授与され
た。これを励みに、いい意味
でアウトサイダーであり続
けてながら、同窓生の皆さん
とのご縁を大切に、地域の力
を積み上げてきた伝統や
文化をさらに良い学校
にすることができればと思
っています。

河高は自分の肌に合つてい
ると思っていました。

卒業して上京してから